

准教授

学位： 博士（文学）

略歴：

神田外語大学大学院言語科学研究科博士前期課程修了

名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程満期退学

専門分野： 日本語学・日本語教育

研究課題： 日本語の情意表現：単音節語から感情形容詞まで

【論文】

「『あ』の中核的意味とその外延的事象について」（名古屋大学国際言語センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第 25 号, 2018. 3）

- ・「国語教育における読む力の育成—書き手の感情を読み取る際の外国籍学生が抱える問題点と指導の要点一」（『愛知文教大学教育研究』第 4 号, 2013. 6）
- ・「終助詞『な』が表す感情表出機能の実体」（名古屋大学留学生センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第 19 号, 2012. 3）
- ・「学習者の日本語文末表現の使用について」（『愛知文教大学比較文化研究』第 11 号, 2011. 11）
- ・「汎性語の終助詞「わ」の意味について」（名古屋大学留学生センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第 18 号, 2011. 3）

【その他】

- ・愛知文教大学公開講座「異文化理解と外国人に対する『やさしい日本語』について」, 2017 年 9 月
- ・小牧市大学連携講座「外国人にとってわかりにくい日本語・社会のルール、そして防災～外国人の方に寄り添うために～：日本人の目から見た外国人にとってわかりにくい日本語」, 2016 年 10 月
- ・愛知文教大学公開講座（2015 年度統一テーマ「基本の話」）「はとがとをとに」, 2015 年 9 月
- ・小牧市民講座「日本語の教科書をのぞいてみよう」, 2014 年 7 月
- ・社団法人日本語教育学会 2012 年日本語教育国際研究大会運営協力員（委嘱期間：2011 年 12 月 1 日～2012 年 8 月 31 日）

【研究テーマ】

日本語の語・表現の意味のうち、「理」的意味に対する「情意」的意味について問い合わせています。従来（現在も）の結合論の立場をとらず、分出論の立場に立ち、目的を「分類」することではなく、「統一し、その関係性を捉えること」におき、研究をしています。従来の品詞分類で分けられた感動詞と終助詞も単音節語として同じ基盤で考察することで、その本質が見えてきます。